



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

2020年度 東京外国語大学基金 活動報告

2021年6月
東京外国語大学

2020年度の東京外国語大学基金の活動報告をお届けいたします。昨年度も、多くのご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

昨年は、本当に特別な一年でした。2020年の年初にはじまった新型コロナウイルス感染の拡大は、大学生の暮らしを直撃し、オンライン教育の開始や感染対策の徹底など、大学にも大きな影響を与えました。こうしたなかで、皆様からいただいたご支援、ご協力は、ほんとうに私たちの支えとなりました。

本報告にありますように、皆さんのおかげで、学生に対する様々な支援を実現することができました。また、長年の課題であったサークル棟の改修も実現し、清潔な環境で課外活動が再開できることとなりました。

2021年6月現在、依然としてコロナ禍の影響から脱しきれない状況ですが、大学は、一歩一歩、正常化に向け進んでおります。引き続き、皆様からの温かいご支援を賜り、様々な活動に生かしていければと願っています。どうぞよろしく願いいたします。

2021年6月
東京外国語大学長
林 佳世子

基金の年度報告を作り始めて2回目の報告書となりました。

皆様から頂きましたご寄附を学生支援等の基金事業にどう生かすことが出来たか、なるべくトピックスも交え作成しましたが、これからも年度報告に限らず、いろいろな機会を捉えて基金の状況をご紹介して参ります。本学基金をより身近に感じ、基金活動に参加して頂けるような努力を続けて行きたいと思っております。

2021年度には、コロナ禍困窮学生支援事業に引続き努力する一方、「研究等支援事業基金」向寄附への税額控除適用の実現、用途をより限定、明確化した「特定基金」メニューの充実なども図って参ります。引続き東京外国語大学基金へのご支援並びにご意見を頂戴出来れば幸いです。

2021年6月
東京外国語大学理事
(基金・経営戦略担当)
犬飼 啓吾



【収支報告】

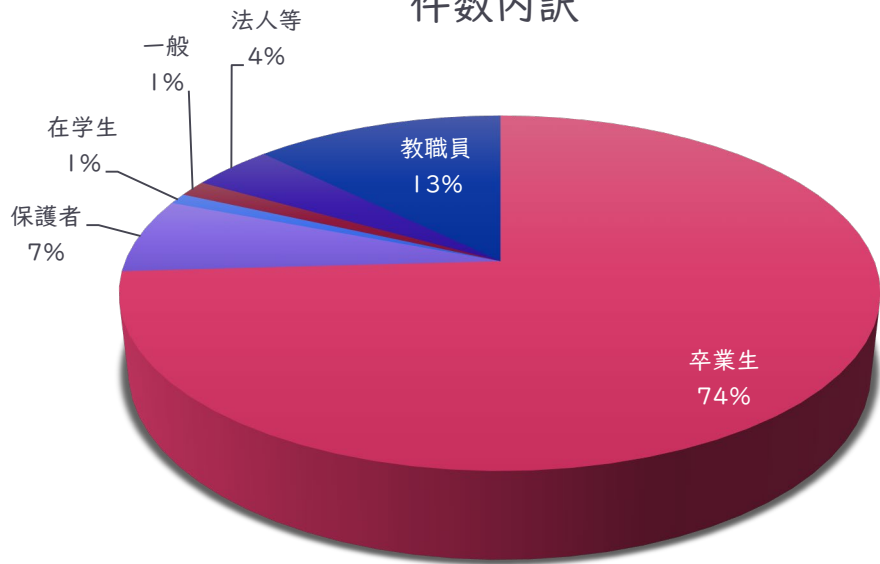
(金額:円)

2020年度 期首残高	収入額	運用利息	支出額	2021年度 繰越
545,527,551	54,053,265	509,463	44,650,974	555,439,305

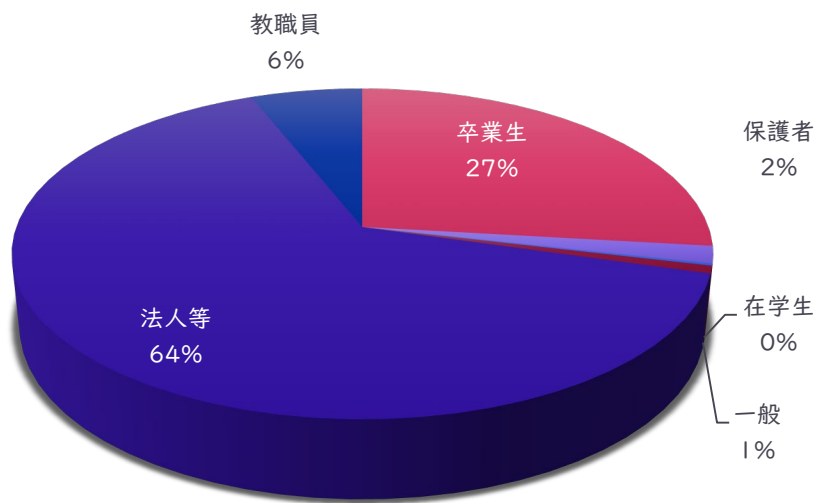
※新型コロナウイルス感染症に係る緊急無利子貸与奨学金の貸与額は支出額に含んでおりません

<収入>

件数内訳

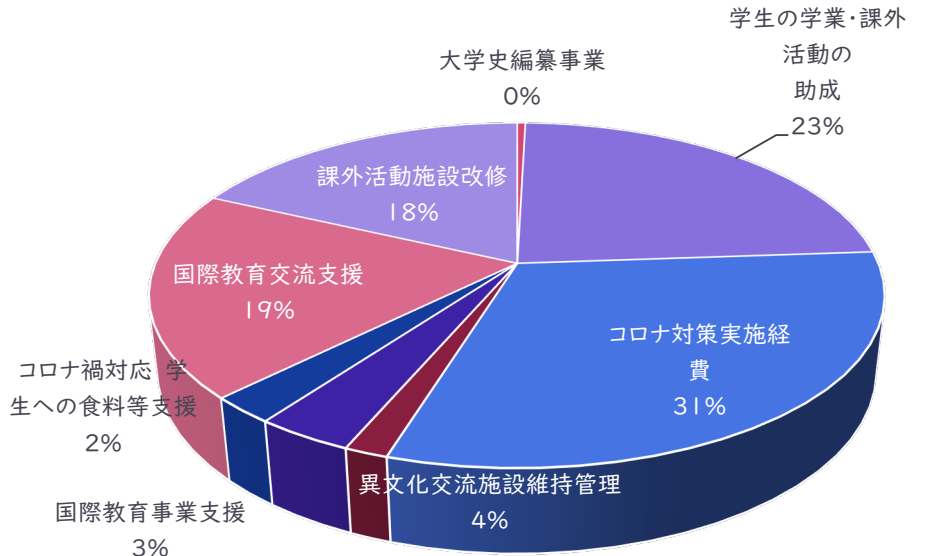


金額内訳



<支出>

支出内訳



区分	主な使途	金額(円)
大学史編纂事業	大学史編纂・刊行のため経費。	189,342
学生の学業・課外活動の助成	英語の自立学習を支援するため、スピーキング・セッション、多聴・多読プログラム、オンライン学習プログラム等の多様な学習の機会を提供、多読資料となる図書などの購入。 毎年11月下旬に開催される外語祭(学園祭)での語劇への助成。 学生の進路指導に必要な資料購入、各種セミナー等開催に係る経費。	10,476,050
コロナ対策実施経費	AI顔認証サーモグラフィカメラ・飛沫防止アクリル板・スクリーン・手指消毒液購入、教科書発送業務委託等、新型コロナウイルス感染症対策に係る経費。	13,801,240
コロナ禍対応 学生への食料等支援	フードパントリー提供食品・食堂利用券購入に係る経費。	728,000
異文化交流施設維持管理	外語際の語劇、イベント等で使用するアゴラグローバルプロメテウスホールの維持のため、保全業務を実施するための経費。	1,632,565
国際教育事業支援	本学が目指す多文化共生に広く貢献できる人材及び優れた国際人の育成並びにグローバル・キャンパスの実現に寄与する教育推進事業に係る経費。	1,114,409
国際教育交流支援	「21世紀の地球社会と対話し行動する東京外国語大学」(“TUFS -InterACTing with the Global Society”)の基本精神にのっとり、言語や文化的な背景の違いをこえ本キャンパスに学ぶ優れた学生(日本人学生・留学生)に対する奨学金の支給、海外派遣などの幅広い支援事業。	8,645,149
課外活動施設改修	課外活動施設(通称「サークル棟」)の改修作業に係る経費。	8,064,219
合計		44,650,974

区分	主な使途	金額(円)
新型コロナウイルス感染症に係る緊急無利子貸与奨学金	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入等が減少し、緊急に経済的な支援が必要な学部生及び大学院生に対し、貸与型奨学金事業。	3,587,400

区分	件数	金額(円)
卒業生	306	14,508,000
保護者	28	905,000
在學生	4	109,500
一般	6	400,000
法人等	17	34,875,765
教職員	52	3,255,000
合計	413	54,053,265

【活動報告】

以下の事業を行いました。

貸与奨学金事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入等が減少し、緊急に経済的な支援が必要な学部生及び大学院生に対し、本基金を財源に貸与型奨学金制度を開始いたしました。

38名4,917,400円貸与いたしました。今年度中に返済が完了している学生もおり、現在は24件3,587,400円が貸与中となっております。

食券配付事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた学生への支援事業として、本基金と日本学生支援機構「新型コロナウイルス感染症対策助成金」を財源に希望学生に対して大学生協食堂で利用できる食券を配付しました。

第1回目の配付は、1人あたり5,000円分の食券を260名の学生に、第2回目の配付は、1人あたり4,000円分の食券を212名の学生に配付しました。

フードパントリーの開催

新型コロナウイルスの影響で困っている学生を支えるため、キャンパス内においてフードパントリー（食品などの配布）を7月10日（金）、8月6日（木）9月4日（金）及び9月7日（月）の計4回実施いたしました。

○第1回フードパントリー（7月10日（金）開催）の様子

本事業は、5月31日に府中市内で開催されたフードパントリーに多くの在学生が参加したことがわかり、そのことを踏まえ、大学で初めて実施されたものです。実施に先立ち、アンケート調査を行ったところ、165名の学生から参加を希望する旨の回答があり、その中には、「食事回数を減らしている」、「来月の生計が回らないかもしれない」、「次の収入まで食費が持つか分からない」、「お金の滞納がある」、と新型コロナウイルスの影響で食事などの生活面においても困っている学生が多数いることがわかりました。

食料は、教職員個人からの持ち寄りの他、本学学生協同組合、本学学生後援会、本学留学生支援の会、東京外語会、JAマイズからのご協力により実施されました。また、フードバンク府中からは、フードパントリー実施に関する詳細な指導、前日準備、当日実施への協力がありました。加えて、今年度の春学期の学部開講「基礎リテラシー」でも授業講演を担当していただいた府中市消費生活センターからは、生活相談としての窓口として情報提供、グッズなどの提供がありました。

当日は、キャンパス内の国際交流会館や近隣に住む100名を超える学生が参加し、お米やお袋いっぱいのお米のセットを持ち帰りました。参加学生からは、「多くの食糧支援に本当に感謝している。感染拡大の状況に不安もありますが、みなさんのあたたかなご支援に、自分も頑張ろうと思えた」「コロナの影響でアルバイトが減るなどし収入の減った学生が多い中、このようなイベントを開いてくださったことには感謝している」「オンラインになり毎日三食作るのが大変。食費も増えてしまう。秋学期もオンラインが多いのでこのまま食費が増えたままの状態が続くと思うと心配している」などのコメントが寄せられました。



留学支援

本基金は、本学で学ぶ留学生等に対する奨学制度、本学学生の留学、海外からの留学生の渡航旅費、国際貢献に関わる事業等に対して支援しているところです。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本学に受け入れた留学生の渡日後14日間の待機や公共交通機関を利用しないために負担したハイヤー代の一部を支援いたしました。

コロナ感染症対策

学生の安全確保を第一に考え、2020年度春学期は、感染防止のため講義をオンラインに切り替えて行いましたが、秋学期からは、対面講義とオンライン講義を組み合わせたハイブリッド講義を導入いたしました。

そのため、コロナ感染症対策として、研究講義棟北側（多磨駅側）入り口にサーモグラフィーカメラ2台、附属図書館に1台を設置し、講義棟など各所に消毒剤、学生と接する機会窓口や食堂にアクリルパネルを設置いたしました。また、大学でオンライン授業を受講せざるを得ない場合にはZOOM専用教室を設け、仕切りパネルを設置し、感染症対策を施しております。



課外活動施設の改修

本学課外活動施設（通称「サークル棟」）の部室は、20年余りの使用により大変混乱し、その整理が課題となっていました。そのため、課外活動団体の学生代表と話し合いを進め、対面授業が再開された2020年度秋学期から不用品の片付けや清掃・改修作業を行い、2021年3月に新しく生まれ変わり、オープニングセレモニーが執り行われました。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、課外活動は一時的に停止していますが、活動が再開された後、学生の皆さんに気持ちよく使用していただくことを楽しみにしています。また、末永くきれいに使っていただくことを願っています。



【お知らせ】

特定基金の設置について

経済状況の悪化などにより、食料の調達に窮する学生もでてきており、本学では第1回のフード・パントリーを2020年7月10日（金）を皮切りに計4回実施いたしました。

継続的に食料等配付を実施する財源とするため、期限付きで『コロナ禍対応 学生への食料等支援基金』を設置し、皆様から700,000円を超える温かいご支援をいただきました。

今後、学生支援のための特定基金を設置の際は、基金ホームページ等でお知らせいたしますので、皆様のご理解と温かいご支援をいただければと願っております。

研究等支援基金設置について

国立大学法人へ個人が寄附をした場合の税制上の優遇措置については、平成28年度税制改正において、租税特別措置法(昭和32年法律第26号)が改正されたことに伴い、学生等に対する修学の支援のための事業に充てられる寄附金を個人が支出した場合の税額控除の仕組みが創設されました。また、2020年度税制改正において、税額控除の対象に、学生又は不安定な雇用状態にある研究者に対するこれらの者が行う研究への助成又は研究者としての能力の向上のための事業に充てられる寄附金が追加され、本基金でも新たに「研究等支援基金」を設置いたしました。現在は、税額控除の証明をうけておりませんが、2022年1月から証明を受けるため準備しております。

皆様からのご支援が、将来を担う優れた人材育成につながります。温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

不動産・株式等のご寄附について

本基金では「土地、建物等の不動産」、「株式等の有価証券」など、現物資産によるご寄附もお受けしております。

個人が不動産、株式等の現物資産を寄附した場合、寄附時の時価で譲渡があったものとみなされ、資産の取得時から寄附時までの値上がり益に対し、「みなし譲渡所得税」が寄附者に課税されることになっていますが、平成30年度税制改正により、文部科学大臣の証明を受けた基金の中で寄附資産を管理する場合は「みなし譲渡所得税」の非課税承認を受けられるようになりました。

ご寄附頂く現物資産を本学が有効に活用できるか否かを判断させていただくこととなりますが、住居など大学で利用することが難しいと思われる物件でも、買換特例で株式などに転換し、配当や売却益を大学経営に活用できる可能性がございます。現在所有の不動産、株、債権などの処分を検討しておられる方、不動産を相続する可能性があるが居住見込がなく固定資産税や維持管理の負担を心配しておられる方、遺贈を考えておられる方等は是非ご相談ください。

【2021年度支援事業計画】

区分	主な用途	金額(円)
学生の学業・課外活動の助成	英語や他言語の自立学習を支援するため、スピーキング・セッションの実施。 英語多聴・多読プログラム、オンライン学習プログラム等の多様な学習の機会を提供、多読資料となる図書などの購入。 毎年11月下旬に開催される外語祭(学園祭)への助成。 大学公認の各部、サークル活動などのクラブ活動支援。 キャリア教育支援や学生の進路指導に必要な資料購入、各種セミナー等開催に係る経費。	25,680,000
給付奨学金事業	新型コロナウイルス感染症等の影響により、アルバイト収入の減少などにより経済状況が急変し、学生生活の継続に支障をきたす学生への支援を目的とする給付奨学金事業。	29,089,000
国際教育交流支援	「21世紀の地球社会と対話し行動する東京外国語大学」(“ TUFS -InterACTing with the Global Society”)の基本精神にのっとり、言語や文化的な背景の違いをこえ本キャンパスに学ぶ優れた学生(日本人学生・留学生)に対する奨学金の支給、海外派遣などの幅広い支援事業。	18,648,382
国際教育事業支援	本学が目指す多文化共生に広く貢献できる人材及び優れた国際人の育成並びにグローバル・キャンパスの実現に寄与する教育推進事業の支援。	6,955,445
学生自主企画公募事業	学生が日頃の授業の中で学んだことを実践し、またそれを社会に還元することにより、社会人となった時に必要な力を身につけていくことなどを目的として、学生の自主的かつ創造的な多文化共生活動を支援。	900,000
大学史編纂事業	大学史編纂・刊行のため経費。	1,721,000
異文化交流施設維持管理	外語際の語劇、イベント等で使用するアゴラグローバルプロメテウスホールの維持のため、保全業務を実施するための経費。	2,720,900
	合計	85,714,727

【ご寄附いただいた方々】

東京外国語大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。
ご寄附いただきました方々への感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載させていただきます。

■お名前の公表をご了解いただいた方のみ掲載しております。(敬称略)

個人

青山 亨	赤塚 紀彦	秋保 哲	浅野 政由	厚沢 恒夫	荒川 詔四	石川 小波
石澤 麻麗子	石津 拓真	板久 恭子	市原 弘之	伊藤 英二	伊藤 勝郎	伊藤 巧作
伊東 洋右	稲塚 由美子	今井 昭夫	今泉 喜一	今瀬 裕可里	上崎 雅也	植竹 悟
上原 こずえ	鵜沢 寛太郎	白倉 正明	梅津 夏樹	浦田 和幸	榮福 研一	遠藤 紘樹
大幸 岳志	大治 はるみ	大隅 国雄	大谷 早紀	大谷 達之	大谷 法彦	大平 和徳
大満 邦彦	小野 寺 邦洋	小俣 秀夫	小山田 博孝	加賀瀬 悠	筧 紘一	河西 佳子
勝亦 杏子	加藤 俊哉	加藤 麻理子	金田 由妃	鐘ヶ江 有道	神谷 亮平	亀井 好絵
川上 直久	川田 知果	川中 子 ちひろ	北 昌宏	北川 亜紀子	衣川 靖子	木村 孝
木村 匡博	國井 利扶	久野 徹	久野 量一	桑原 道夫	拳市 玲子	小島 健臣
小谷 佐和子	後藤 佳奈	小林 雅彦	小松 由美	小柳 秀樹	斎藤 勉	斎藤 弘子
佐伯 弘文	酒井 晶	櫻井 美紀子	佐々木 紀	佐藤 さとみ	佐藤 誠吾	澤田 正
沢田 真人	沢村 智恵子	塩島 俊雄	篠原 琢	島田 志津夫	清水 良雄	下山 紀子
末益 公一	菅井 啓祐	菅原 恵美子	須崎 彰子	鈴木 征四郎	鈴木 美加	須田 實
須藤 玲子	角 智子	高杉 美和	高野 陽一	高橋 清	高橋 潔	高畑 孝至
高山 元佑	滝本 真奈巳	武井 孝子	武内 進一	田嶋 登	館 次郎	伊達 新之輔
立石 博高	田中 巖	田中 和雄	谷口 知行	谷口 龍子	辻 文宏	土部 研
寺田 貞夫	寺田 博之	土居 守	投野 由紀夫	富澤 直美	富田 花子	猶原 愛実
中江 恵子	中川 碩子	中田 陽佑	中富 節子	長友 治	中村 博	中山 佑理
行谷 玲於菜	新美 陽子	西井 涼子	西内 華朱美	新田 和夫	丹羽 ますみ	沼田 行雄
根岸 由美子	野口 京香	野口 哲也	野口 利明	野口 恵	能登 崇	長谷川 望
箱山 富美子	羽島 今日子	橋本 文男	長谷川 康司	早川 和子	早川 正史	原 貴俊
一柳 二郎	日向 江美	日比 茉優	日比野 崇・崎山千穂	本田 美紀	平井 玲子	昼間 みゆき
福西 雅子	藤井 眞	藤倉 洋一	藤本 栄右	本場 彩織	前田 睦	真崎 里砂
真島 一郎	松隈 潤	松澤 暢子	松本 千絵	村上 智之	三ヶ尻 典子	峰岸 真琴
宮川 智子	宮島 進	宮地 郷穂	迎町 彩織	矢田 結	村越 茜	村田 吉隆
モウ ロイ	森田 耕司	屋形 美紀	八木 久美子	山田 博志	柳沢 香枝	山川 功
八巻 まゆみ	山口 登之	山崎 幸雄	山田 武志	山田 博志	山本 一徳	山本 賢司
幸 郁	横田 弘子	横山 秀	吉田 修	吉田 ゆり子	龍治 玲奈	了源 康平
林 仙云	和田 雄二	渡辺 敏夫	渡辺 桃子			

会社、法人、団体

株式会社エス・エヌ・エフ
三和機工株式会社
東京外国語大学学生後援会
藤光樹脂株式会社

合同会社SAMI Japan
株式会社TAMLO
東京外国語大学 フラ・外フアンダ ン部Wilinal!
三菱ガス化学株式会社

株式会社ビジュアール・サトウ
一般社団法人 東京外語会
東京外国語大学留学生支援の会

東京外国語大学総務企画課基金室
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
TEL : 042-330-5126 FAX : 042-330-5140
E-mail : tufs-fund@tufs.ac.jp
URL : <http://tufs-fund.jp/>